

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1 歳児)

期待と不安が入り混じりる年末年始の休み明け、久しぶりに登園して来た子どもたちは、友だちを見つけるとパタパタッと駆け寄り、声をあげて笑ったり、おもちゃを渡して関心を引こうと一生懸命！これまで一緒に過ごしてきた友だちと久しぶりに会えた嬉しさを全身で感じていました。0歳児も歩くことやハイハイが上手になり、お部屋の中でも探索活動が止まりません！今年もパワー全開のたまご組です。

1月に入り、もちつきの絵本や手遊びを楽しんできた子どもたち。実際に、目の前でお餅をつく迫力満点の様子に、保育者と共に手を叩き喜ぶ0歳児、対照的に1歳児は、もちつきに“くぎづけ”「何が起きているんだろう？」と一生懸命考えている真剣なまなざしが印象的でした。不思議に思い、じっくりと考えるような表情に成長を感じます。

色々な事を感じ経験しながら心も体も“ぐーんと成長”するこの時期、『自分で』という意欲や『ありのまま』を受け止め心の根っこをしっかりと育んでいきたいと思っています。



ことい組(2 歳児)

餅つきの日は、かまどから立ち上る湯気や匂い、薪の燃える炎や音に興味を示し、上から見る子、下から覗く子、それぞれの発見がありました。お父さんたちがつく姿を見て、「よいしょー！」のかけ声が段々大きくなり、やってみたい気持ちも膨らみ、一人ひとり先生といっしょに“つく体験”をしました。“やっとぼくの番だ”と自分から杵を持ち、やる気にあふれる姿もありました。食べる力が育ってきている子どもたちは、餅も前歯ガブリ！でよく噛み、食べ「おもちになったね。びよーんてした。」「あんこがいい。」等会話も弾み、みんなで作った餅の美味しさを分かち合いました。五感を使っただけの本物体験を楽しんだ一日となりました。

音楽の日に参加し、覚えた歌をくちずさみ、子どもたち同士で歌う姿から、“いっしょに歌ってみよう”とする気持ちが増しているように思います。スプリングコンサートでは、大好きな歌を友だちや保育者と一緒に歌う楽しさをもっと感じてほしいと願っています。また、礼拝やホットタイム時に椅子を自分で運ぶことに挑戦し、自分でできることが増え、喜びを感じている子ども達です。スプリングコンサートをきっかけとして、大きくなるって嬉しい事なんだ！と大きくなろうとする姿を大切に見守っていききたいです。



すみれ組(3 歳児)

「お正月あそびって？」あまりピンときていなかったすみれ組の子どもたちでしたが、本物を目にし、触ってみる、挑戦してみる。そして、自分たちで手作りした牛乳パックのコマや紙コップけん玉に親しみを持ちました。カルタなどもみんなでルールを確認しながら楽しく遊ぶことが出来ました。その中でも風揚げが大人気で、もちかえり、お家でもできることを楽しみにしている子どもたちです。

今、子どもたちが一番関心を向けているのが、“音楽”です。スプリングコンサートに期待をふくらませながら、園長が見せてくれる、形や色、音の違うギターや様々な楽器に興味津々です。新しく出会う“うた”や、すみれ組になって歌ってきた“うた”を思い出しながら、たくさん歌って心をうごかしています。

園長みたいにギターが弾きたい！カホンたたきたい！としたいことが次々と出てきます。【みんなと一緒にだから楽しい】を感じながら、残りのすみれ組の時間を一日一日大切に過ごしていきたいと思っています。



ひつじ組(4 歳児)

新年を迎え、お正月遊びに夢中になっているひつじ組です。「ばばばあちゃんめくり」や「絵合わせ」などのかるたやこま、だるま落とし、けん玉、お手玉など・・・けん玉は難易度が高く、「まずは修行をしよう！」と手作りのけん玉を作って、練習。本物のけん玉で成功した友だちがいたときは、自然と拍手をして喜び合ったり、友だちの姿をよく見て真似してみたりと、みんなで共有しながら楽しんでいきます。また、群れ遊びにも熱中しているひつじ組です。

“はないちもんめ”などを楽しみながら、勝ったときの嬉しさと共に、負けたときの悔しさも感じながら、「またやりたい!」「次はどうしたら勝てるかな」「みんなと一緒にやると楽しい!」と、心も身体も沢山動かしています。

また、1月はもちつきを行いました。「しぜん：もち」の絵本を読みながら、「もちは何からできるんだろう」「あの道具は何か?」と調べ、もちつきの準備は万端!当日は、かまどの様子を五感を使って観察し、もちつきへの期待が高まっていきました。「よいしょー!」の掛け声とともに、力を込めて、もちをつき、みんなでついた餅のおいしさを分かち合いました。

スプリングコンサートも近づいてきました。これまでのうたを振り返ったり、新しいうたとの出会いに心を動かしながら、どんなコンサートにしたいかみんなで相談を進めています。

憧れのほし組になるまでもう少し!「みんなと一緒にだから楽しい」を感じながら、みんならしく大きくなってほしいと願っています。



ほし組(5 歳児)

1 月に入って竹馬を保護者の方に見ていただく日が決まり、あと何日経ったら見てもらえる日かな、と毎日みんなで確認しながら、子どもたちはさらに竹馬に熱中しています。毎日少しずつ竹馬ができるようになると、みんなで「すごい!」「やったね!」と喜び合い、励まし合う姿がたくさん見られています。これからもみんなで声を掛け合いながら、楽しく竹馬に挑戦していきます。

そして、スプリングコンサートに向けてもたくさん歌を歌い始めています。4月からこれまでに歌ってきた曲を振り返り、新しい曲にも挑戦しながら、保護者の方に届けたい、みんなで歌いたい曲はなんだろうと、話し合いを進めています。また、今回は園長から教えてもらった世界の讃美歌にも挑戦したいという声が出てきています。普段歌っていた讃美歌はこの国の讃美歌だったのか、みんなで地図を眺めながら、生活の中で讃美歌を口ずさむ声がだんだんと広がっています。

これからの日々をみんなで大切に過ごし、幼稚園で過ごす時間が自信に繋がりますようにと願っています。



預かい保育(3・4・5 歳児)

ほし組は、預かりの時間も継続して竹馬を頑張る姿があります。お正月遊びのけん玉やお手玉に挑戦したり、文章や絵を自分たちで考えたすごろくを楽しむ姿もありました。自分たちで考えたり作ったりすることが得意なほし組の姿をひつじ組やすみれ組はよくみています。

ひつじ組は折り紙や製作に取り組んだり、おままごとやかかるたあそびを楽しむ姿がみられました。そして、ほし組に教えてもらいながら砂場や床下の片付けを頑張っています。少しずつ、ほし組になる準備を重ねています。

すみれ組は、だるまさんがころんだをみんなで楽しんでいます。そして、お昼寝後のベッドの片付けを頑張る姿が多くみられるようになってきました。自分たちでやるという気持ちになってきたのですね。先日、ほし組の友達にけん玉をする姿をみせてもらったすみれ組。「すごいね!」と拍手をしてみていました。

異年齢で過ごすことで「もっと大きくなりたい」「もっと上手になりたい」と、それぞれが感じながら預かりでの時間を楽しく過ごしてほしいと思っています。